

真滝学校給食センター 業務開始



最初のメニューは、みんなが大好きなカレー。会話もにぎやかに「おいしい」（一関東中1年の教室で）

平成20年度から2カ年で整備を進めていた真滝学校給食センターが3月末に完成し、4月19日、開所式を行い、業務が本格的にスタート。これにより、市立の小中学校全校が自校方式を含め、完全給食化を実現しました。

滝沢字水口の一関東中学校に隣接する4374平方メートルの敷地に完成したセンターは、鉄骨造り一部2階建て、延べ床面積は994平方メートル。一関・川崎地域の小学校4校と中学校5校の合わせて9校に約1600食の給食を供給します。

センター内の厨房機器や空調などをすべて電力で賄うオール電化方式を採用。また、調理場の床を常に乾いた状態にして菌の繁殖や水跳ねによる汚染を防ぐドライシステム▽下処理室、調理室、洗浄室の分離▽オゾン発生器による施設内の殺菌など、安全で衛生的な環境のための設備を整えたほか、アレルギー食の調理コーナーを設けています。2階には調理室内を見渡せる研修室を設け、食育にも配慮しています。

職員は、所長、栄養士、調理員、事務職員の17人体制。調理した給食は、4台の配送車により届けられます。

市は本年度、(仮称)千厩学校給食センターの実施設設計を行う計画で、今後とも学校給食の充実を計画的に進めることにしています。



上 関係者が拍手で第1便の出発を見送りました
中 ドライシステム、オール電化の調理室内部
下 鉄骨造り2階建てのセンター外観

花泉診療所

医療福祉の一体型で開所



上 開所を祝いテープカット
右 リニューアルした施設内部



無床化されていた花泉町の県立花泉地域診療センターが医療法人白光橋本幸徳理事長に民間移管され、花泉診療所として開所しました。

4月6日には、現地で開所式が行われました。開所式には、法人の関係者や県医療局、市関係者、地元住民や施工業者ら約60人が出席。神事では、白光の橋本理事長や勝部市長らが玉くしをささげ、橋本理事長が「地域の理解と支援をいただき、地域に喜ばれる施設にしていきたい」とあいさつしました。また、テープカットも行われ、出席者で開所を祝いました。

花泉診療所は、常勤医2人と非常勤医3人の体制で診療にあたります。診療科目は、内科と外科で、診療日は内科が月曜日から金曜日までの毎日、外科が月水金の週3日間で時間はいずれの日も午前9時から正午までと午後2時から同6時までとなっています。

いわて南牛消費拡大に向け推奨店を選定



取扱店に木製の取扱店証やのぼりなどを交付

いわて南牛振興協会会長・勝部市長は、一関・両磐地方で同牛を継続販売メニュー化する食肉

販売、飲食店19店舗を「いわて南牛取扱推奨店」に選定し、各店舗に取扱店証を交付しました。市役所で行われた交付式には、取扱店10店や関係者などが出席。各店に取扱店証が交付されました。会長である勝部市長は「年間1200頭の出荷があり、評価も上がっている。ブランドとして定着させたい」と語りました。

いわて南牛は、いわて南、いわて東、いわて西の銘柄を統一したもので、今後、各店や生産者、行政などが一体となりブランド定着と消費拡大を目指していきます。

5月12日は民生委員・児童委員の日

5月12日は「民生委員・児童委員の日」。この日に制度が創設されたことを記念し、昭和52年に定められました。また、12日から一週間を「活動強化週間」として、民生委員・児童委員の活動を市民の皆さんに理解していただくためのさまざまな取り組みを進めることにしています。

民生委員・児童委員は、民生委員法と児童福祉法により厚生労働大臣から委嘱された地域住民の皆さんの暮らしを支えるボランティアです。また、子どもに関する支援活動を専門に担当する主任児童委員もいます。

現在、一関市では、358人(内・主任児童委員30人)の委員が活動しています。

◎民生委員・児童委員はこんな活動をしています

- 1 地域福祉活動に欠かせない情報収集活動
- 2 行政機関や福祉団体などの連携・協力活動
- 3 地域の皆さんが抱えるさまざまな悩みなどへの相談支援活動
- 4 福祉団体などと連携して実施する地域福祉活動
- 5 子育て支援活動

民生委員・児童委員は地域の皆さんの相談相手として一番身近な存在です。

民生委員・児童委員には守秘義務があります。相談内容の秘密を守り、個人情報やプライバシーの保護に配慮した支援活動を行います。

◎問い合わせ先…本庁児童福祉課福祉総務係または各支所保健福祉課、一関市民生児童委員連絡協議会 ☎@4133